

男子部中等科・高等科 「良い情報発信とは何か」

橘 隼人

本活動は、「良い情報発信とは何か」について、プロジェクションマッピング・学業報告会パンフレット・写真・広報・タイムラプス動画の6つのグループを作り学習をした。扱う題材は、異なるが全員がプロジェクトに参加し、実際に手を動かしながら問いと向き合うことができたことが本活動の成果である。

I. はじめに

今回の学業報告会では、プロジェクションマッピング・学業報告会パンフレット・写真・広報・タイムラプス動画の6つのグループを作り、良い情報発信とは何かについて考えを深めた。ここではそれぞれの活動の概要をまとめ、今回の成果報告を行う。

II. プロジェクションマッピング

近年東京駅や東京ディズニーランド、スカイツリーなど様々な場所でプロジェクションマッピングが行われている。今回は高等科3年生1名が実際にプロジェクションマッピングを作成することで、映像の作り方や表現方法について学んだ。

プロジェクションマッピングの作成には、Adobe After Effects を用いた。フリーソフトで製作することも可能だが、他の映像製作にも応用が利くために今回は有料のものを選定した。建物(女子部体操館)に投影したいという気持ちがあったため、女子部体操館に投影することを最終目標とし、今回の学業報告会では、体操館の模型を製作して小型のプロジェクターで投影することにした。



Fig1：製作した模型



Fig2：製作したプロジェクションマッピングの様子1



Fig3：製作したプロジェクションマッピングの様子2

実際に制作した動画は、以下の QR コードより閲覧ができますので是非ご覧ください。



Fig4：製作したプロジェクションマッピングの動画

III. 学業報告会パンフレット製作

高等科 1 年生 1 名と中等科 2 年生 1 名が学業報告会当日に配布されたパンフレットの作成を行った。フォントやグリッドシステム、色の特性などデザインの基礎を学んだのち、実際のパンフレットの作成を行った。なぜ? という問いを大切にしどの情報をどこに載せるのか、試行錯誤を重ねた。以下が当日配布したパンフレットである。



Fig5: 学業報告会パンフレット

表紙は、モジュールグリッドを採用し、グリッドを活用したことを強調するためにあえて白線にしてグリッドも印刷した。メインの写真はプレゼン会場となる記念講堂を選び、そこから学びが発信されていることを表現するために、準備期間の写真や間に入れ構成されている。書体や字詰め、などにも注意し作業を行うことができた。

IV. 写真

中等科 2 年生 4 名が集まり、記念講堂 2 階で写真展を行った。写真展を開催するにあたり、Canon、Nikon、FUJIFILM のギャラリーに見学に行った。実際に展示を行っているプロの写真家の方に、今まで撮りためた写真をみていただき、アドバイスもいただいた。4 人で相談を重ね、学園の自然をテーマに、植物や風景などの写真を 22 点展示した。挨拶文やプロフィールなど写真展で展示されていたものも参考にしながら、自分たちの展示を行うことができた。

写真の編集技術の学びとして、Photoshop を用

いてトリミングや色味の調整についても勉強しました。いくつかの色見本のサンプルを作成し、色によって人はどのような感情を持つかについても簡単なアンケートを行った。



Fig6: 見学の様子



Fig7: 色見本のアンケート調査の様子



Fig8: 生徒の作品 1

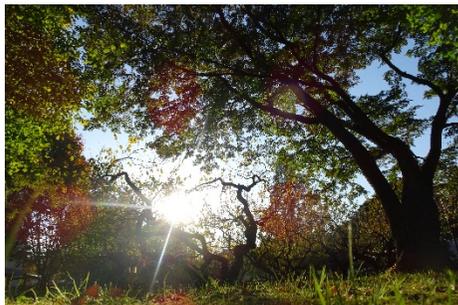


Fig9: 生徒の作品 2

V. 広報

中等科 3 年生 2 名、高等科 2 年生 1 名で活動を行いました。このグループは、チームロゴ、PV の作成を行い、当日のプレゼンテーションを担当した。チームロゴは、Pursuit of Awesome Design の頭文字のアルファベットで構成されており、今回のプロジェクトチームを「パッド」と名づけた。

ロゴの製作にあたり、様々なアイデアやデザインサンプルを作成し、良いデザインとは何か作成を通して学ぶことができた。

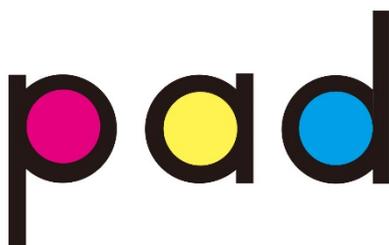


Fig10：製作したチームロゴ

VI. タイムラプス動画

中等科 3 年生 1 名が、自身の絵の製作過程をタイムラプス動画でまとめ展示発表を行った。タイムラプス動画とは、長時間の現象を短い時間で短縮して見せる動画のことで、今回は、大きな木の板に絵を描く様子をまとめ実際に制作した作品と共に展示をした。



Fig11：製作中の様子



Fig12：展示作品

VII. おわりに

今回の学業報告会は様々な学年の生徒が同時に 6 つものプロジェクトを行った。学業報告会が初めての生徒やあまりコンピュータを扱ったことが無い生徒も多くいる中、上級生が自分のプロジェクト以外のところに気を配りながら 2 週間を過ごすことができた。これは割りならでの良さであった。また、2 年前に私のグループで活動した生徒が再び今回のテーマを選択し、後輩に過去習得した知識や技術を伝えてくれたことも喜ばしいことであった。それなしには、今回のパンフレットや展示は完成できなかっただろう。動画編集と模型製作のサポーターには最高学部の学生と卒業生が来てくれた。改めて一貫教育の良さ、男子部の縦の繋がり強さを感じる事ができた。

今回、「良い情報とは何か」という問いに対して、机上の学びだけでなくたくさんのものを製作する中で考える事ができたことに価値があったと考えている。私自身が専門外のことも多くあり、どのような発表や展示になるか正直未知であったが、生徒と共に学ぶことの大切さと喜びを感じた夢のような 2 週間であった。